

# 日野川支流・俣野川にかかる大山隠岐国立公園・鏡ヶ成の取組

環境省中国四国地方環境事務所大山隠岐国立公園管理事務所  
所長 尾崎 絵美

## ■大山隠岐国立公園とは

事務所の名前にもある「大山隠岐国立公園」は、全国に35ある国立公園のひとつで、中国地方最高峰の大山から蒜山一帯および三徳山一帯の山岳地帯、三瓶山、島根半島の海岸部、そして隠岐諸島の4つの地域から成る、山・島・海の変化に富んだ景観を有した国立公園です。



日野川河口よりのぞむ伯耆大山

## ■大山隠岐国立公園と日野川との関わり

大山隠岐国立公園は、日野川のいくつかの支流がエリアに入っています。今から20年以上前の2002年に、源流から河口、支流から本流に至る日野川流域という広域的視点をもってその自然環境を守り、将来に引き継ぐため、「日野川の源流と流域を守る会」を設立し、様々な活動を通じて会を継続、発展されてきたことは先進的ともいえる取組だったのではないかと考えます。

支流のひとつである俣野川が始まる場所にある「鏡ヶ成」は大山隠岐国立公園内にあり、これまでも貴会の活動において、自然観察会や外来種駆除活動等を実施してきていただいております。国立公園の保護及び利用の推進にお力添えもいただいておりますことを感謝いたします。

## ■鏡ヶ成における取組

鏡ヶ成は、大山隠岐国立公園において主要な利用拠点のひとつです。戦前までは陸軍の軍馬育成場として放牧地や採草地として利用されていましたが、それらの利用がなされなくなると湿原の乾燥化や植生の変化が進行していきました。このような状況を受け、2000年度から2007年度にかけて、環境省が中心となり、湿原植生の回復効果の検証として土嚢を使った堰の設置や、草原環境の管理手法検討のための刈り取りや火入れの実施等を行い、湿原や草原の管理手法の検討・設定を行いました。その後2016年からは鳥取大学からの参画を得て科学的な側面が強化された形で自然再生事業が始まるようになりました。そして2019年3月には鏡ヶ成に水源をもつ「サントリー天然水奥大山ブナの森工場」を所有するサントリーホールディングス（株）、江府町、環境省の3者間で、鏡ヶ成の保全、再生及び活用に関して協働を進めることを目的にした協定の締結も行いました。この協定締結と同時に、産学官で構成される「大山隠岐国立公園鏡ヶ成保全再生活用協議会」が発足し、現在ではこの協議会を中心に、春の山焼きや初夏の選択的草刈り、秋の防火帯作り等をボランティアの協力も得ながら実施しています。



鏡ヶ成湿原と木道



山焼きの様子

2023年度には、協議会で議論を行い、鏡ヶ成の目指す方向性を「鏡ヶ成ビジョン」として、ビジョンの達成に向けた課題と解決策を「行動計画」としてとりまとめました。ご興味ある方は大山隠岐国立公園ホームページの「取組」をご参照ください。

多様な動植物が息息・生育する魅力的な鏡ヶ成を保全・再生し、日野川の源流と流域を守る会の皆様にも環境教育や自然体験ツアーに活用いただけるよう協議会の皆様とともに取り組んでいきたいと考えています。ぜひ鏡ヶ成協議会のイベントにもご興味あればご参加ください！

## 寄稿 奥大山パークレンジャーが語る日野川への思い

江府町の奥大山パークレンジャー4人の皆さんには、今年、本会のイベントスタッフとしてご協力いただきました。今回、皆さんから日野川やその流域の自然環境等への思いを寄稿していただきました。



さとう かんた 佐藤 幹太 隊員

鳥取県には何種類の両生類が生息しているのだろうか？そう思いレッドデータブックとっとり2022を開いた。そこには「鳥取県には7科20種の両生類が記録されている」と記載されていた。ただ発行後すぐにヒメタゴガエルの生息が鳥取県で確認され、新種記載されたため、正確には7科21種だと思う。そのうち日野川流域に生息している種は、恐らく19種である。この19種の内、絶滅危惧種に指定されている種は9種と半数以上になる。今はオオサンショウウオを始め日野川流域では多くの両生類を簡単に見ることができるが、そのまま放っておいても今の状態がずっと続くというわけでない。そのために日野川流域の生態系システムを解明していきたい。



クマタカ

就職のため山陰に移住して約6年になります。2024年から奥大山パークレンジャーとして勤務しはじめ、日野川流域をコアフィールドにしています。野鳥好きの私が2018年に移り住んで最初に観察に向かったのが日野川で、オシドリやヤマセミを初めて見た印象深い場所です。

源流域から中流域ではブッポウソウ、ヤマセミ、オシドリ、カモ類など。下流から河口域でミサゴ、アマサギ、コアジサシなど。またこれまでの記録だとオジロワシなどの珍しい鳥なども。日野川では四季を通じて色々な野鳥に出会うことができましたと思います。パークレンジャーの業務として1年を通じて野鳥を確認し、記録に残せることは貴重なことだと思います。これからも地道に記録をとっていきます。

【日野川流域・奥大山で今岡が見た野鳥の一部】（順不同）

アオゲラ オオアカゲラ フクロウ ベニマシコ イスカ オオルリ クマタカ ヒレンジャク コハクチョウ  
ブッポウソウ アカショウビン ヤマセミ オシドリ ユキホオジロ コアジサシ ミサゴ



いまおか ひろかず 今岡 寛和 隊員



かどた ひょう 門田 表 隊員

江府町の地域おこし協力隊「奥大山パークレンジャー」として活動している門田表です。私は日野川源流を守る会の活動に関わり、地域の自然の素晴らしさとその豊かさを感じています。特に印象深かったのは、この夏に実施したオオサンショウウオ観察会での体験です。奥大山江府学園の子どもたちと生きもの調査を行った際、川に入るのをためらっていた子どもたちが一度足を踏み入れると生きもの探しに夢中になっていました。その姿から、自然と直接触れ合うことで得られる学びの大切さを再認識しました。教室では学べない自然の中での体験が、子どもたちにとって貴重な学びの場となっています。日野川は地域の命の源であり、貴重な生態系を育てています。今後も、地域の皆さんに命のつながりや自然の豊かさを伝え、この水源が地域の未来につながるような活動を続けていきたいです。

ほぼ南北に流れる日野川は、星好きの私にとって暗闇に差し込む一筋の光のような存在です。何を大袈裟と言われる方もあるとは思いますが、中国山地とりわけ高い大山を擁する鳥取県民にとって南側の視界はかなり残念な状況です。南の天体、特に、全天で一番大きな球状星団のΩ星団や、長寿の星カノープスを見ようとすると日本海側の星見ストは、高い山の頂上まで望遠鏡を担いで上がる苦行のような活動を強いられます。

それに対して日野川流域は、嘘のように地平線が低く、平地でも楽々で南側の空を望むことができます。また、源流に近い地域は標高も高いので、澄んだ空気で美しい星空を見ることができます。こういうわけで日野川のまっすぐな流れは水の恵みだけでなく、星の光の恵みも星好きの私にもたらしてくれています。ありがたいことです。



なかもと よしあき 中本 義明 隊員

# 法人・団体会員の紹介

「日野川の源流と流域を守る会」は会の理念に賛同いただいた多くの個人会員、団体・法人会員の皆様に支えられ活動を続けています。(令和6年10月31日現在会員数 個人244、法人・団体85)

今回、会員となっていたいただいている法人・団体の皆さんを御紹介します。

(50音順・敬称略)

## 【企業・団体】

(有)浅中錦松園	(有)安達住建	(有)池本シービー建設
(株)石田コーポレーション	(株)稲田組	イワタ建設(株)
(株)ウミライ	(株)エスジーズ	(株)エース・プラン
NX境港海陸(株)	王子製紙(株)米子工場	(有)小倉興産
環境プラント工業(株)	(株)錦海化成	(株)グリーン・シャイン
(株)グリーンステージ奥大山ファクトリー	黒坂水産振興組合	江府町観光協会
NPO法人こうふのたより	境港魚市場(株)	(一社)境港水産振興協会
境港商工会議所	坂口合名会社	(有)さつき開発
サワタ建設(株)	山陰冷蔵(株)	三光(株)
サントリープロダクツ(株)天然水奥大山ブナの森工場	(株)さんれいフーズ	(株)シモモト
(株)Joy Garden	生山礦業(株)	シンワ技研コンサルタント(株)
大山春雪さぶーる(株)	ダイニチ技研(株)	(株)タナカ技建
(株)中海テレビ放送	(株)チロル	(有)坪倉組
(株)ティー・エム・エス	天籟(株)	鳥取県経済同友会西部地区
(一社)鳥取県西部建設業協会	鳥取県西部森林組合	鳥取県西部地区木材業組合
鳥取県石油協同組合境港支部	(一社)鳥取県日野建設業協会	鳥取大学医学部
鳥取日野森林組合	永瀬産業(株)	日南町商工会
日南町森林組合	(株)ビーイングス	(株)BEANS
日野川水系漁業協同組合	日野町やっちら会	(株)平井組
平井工業(株)	NPO法人フォレストアカデミージャパン	富士印刷(有)
伯耆国たたら顕彰会	(株)細田商店	(株)ホテルマネジメント米子
(有)松村計量器店	(株)松本組	みずほ米穀(株)
美保テクノス(株)	学校法人美哉幼稚園	(株)モチダ
(株)山根	米子ガス産業(株)	米子管工事業協同組合
米子商工会議所	(一社)米子青年会議所	(有)米子造園
(株)米子木材市場	(株)ワーパス	

## 【市町村関係】

江府町	大山町	日南町
日吉津村	日野町	伯耆町
米子市	米子市水道局	



ひのりん

## 普及啓発活動報告

10月17日、日野町立日野学園にゲストティーチャーとして招かれ、3年生の教科「はばたき科」の授業を行いました。

はばたき科では、これまで日野川をきれいにするための学習を進めてきておられ、今回は、日野川の源流と流域を守る会から「日野川の自然保護の取り組みを聞くことを通して、自分たちにできる日野川の自然保護の取り組みについて考える」という授業でした。

授業ではまず、事務局職員の高橋が当会の成り立ちやイベントなどの活動を紹介し、「日野川の自然保護のためにみんなができることは何か」という、児童の学習のきっかけづくりをしました。

引き続き藤原自然保護監視員の「日野川流域の豊かな自然」の授業が始まり昆虫や植物の話になると、児童たちからは「オオサンショウウオを捕まえたらいけないのですか?」「サクラソウは珍しいの?」など様々な質問が飛び交う楽しく有意義な授業になりました。



源流の碑をスライドで紹介



日野川流域の豊かな自然の授業

はばたき科の授業の成果として、11月1日に日野町文化ホールで開催された日野学園文化祭で、「コケマルといっしょに」と題した3年生の学年発表がありました。

この発表では、日野川に棲むカッパ、コケマルと子どもたちの交流を通じ、一人一人が自分にできることをして、美しい日野川やこの地域をこれからも守っていかうと、すばらしい発表でした。

子どもたちが今後も日野川の流域で成長する中で日野川に親しみを感じ、愛着心を持って、次世代に日野川の魅力を伝えていってくれることを期待せずにはおられません。

当会ではこのように普及啓発活動や学習活動を行っておりますので、出前授業等の希望がありましたら、お気軽にご相談ください。

### 日野川の源流と流域を守る会

## 会員 募集中!

当会の活動は会員の皆さんに  
支えられています。

「日野川を日本一美しい川」にするため、日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しませんか?

当会の活動に興味をお持ちの方は、入会手続きや会費などについて、事務局までお気軽に御相談ください。

【お問い合わせ方法】

・Eメール・ファクシミリ

常時受付・内容確認後に御連絡させていただきます。

・電話

月～金曜日 8:30～17:15 (年末年始、祝日等除く)

## 日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域のすばらしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。

日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えてくれています。

また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。

私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。

そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

【日野川流域憲章の理念】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切にして、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日

日野川流域憲章制定実行委員会